

本願力

横浜別院だより

〒234-0051

【発行】真宗大谷派 本願寺横浜別院

横浜市港南区日野一―十一―八

(〇四五) 八四一―三四三四

FAXTEL (〇四五) 八四一―三四二八
(<http://www.yokohama-ootani.com>)

朋と共に

輪番 森田 成美

去る、十一月十三日、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となっていた横浜別院同朋の会日帰り研修旅行が四年振りに実施されました。行き先は『歎異抄』の著者とされている唯円大徳開基の水戸市河和田町の報佛寺と、国宝『教行信証』（坂東本）を長く伝持されてきた性信開基の台東区上野の報恩寺の二箇寺へ参詣致しました。当日、別院を出る頃は曇天で雨の心配もありましたが、途中から晴れ間も見え、総勢二十一名で快適な一日を過ごさせて頂きました。

両御寺院と御住職から略縁起等、懇切なお話しを頂きました。

報佛寺について、同寺のリーフレットには「報佛寺は浄土真宗の宗祖親鸞聖人の直弟子唯円開基のお寺です。唯円は唯円大徳といわれ、宗意安心（念仏の信心をいただくこと）の旨趣に詳しく、本願寺第三世覚如上人の時代まで存命し、晩年親鸞聖人のご精神を継承して『歎異抄』を著し、宗意を明らかにし法灯（教への灯）を擁護しま

した。」とあります。同じくリーフレットには、「唯円は俗名を北条平次郎といい、ひねくれた心を持ち、また物事の道理に暗い殺生を好む悪人でした。しかし、平次郎の妻は熱心な念仏者で、時々夫の目を忍んで親鸞聖人の草庵を訪れ、お念仏の教えを聞いていました。」とあり、それまで全く念仏の縁がなかった平次郎が妻の深い因縁に依って親鸞聖人の御教化に遇い、仏弟子唯円となった経緯が書かれてあり、あらためて、念仏の教えに遇う不思議さを知らされた事でありました。

報恩寺は坂東報恩寺と呼ばれ、開基の性信は、親鸞聖人の直弟子二十四輩の第一とされ、「一二〇四年山城吉水の源空に帰依し、親鸞に師事した。親鸞とは常に行動を共にし、親鸞の帰洛に際しては、その後事を託され、云々」と『真宗人名辞典』にあります。

報恩寺の本堂に入ってお内陣を拝すると、御本尊阿弥陀如来と宗祖親鸞聖人の御木像が並列に御安置され御荘厳されていて大変驚いたのですが、この宗祖の御木像は、帰洛する親鸞聖人に追隨することを強く願う性信に対し、関東に残り、念仏相統と教化を託された宗祖親鸞自らのお姿を残していかれた、形見の御影と呼ばれる御木像であり、『教行信証』伝持とともに親鸞聖人の信頼がいかに篤かったかを知ることが出来るものであった。『教行信証』と『歎異抄』という真宗門徒にとって大切な御聖教に縁を持つ御寺院に参拝する有難い御縁を頂いたことでもあります。

【同朋の会研修旅行 坂東報恩寺参拝】



— 各法要 (おつとめ・ご法話) のご案内 —

～どなたもご自由にお参りください～

修正会

1月1日 (月・祝) 午前10時～

修正会とは、仏さまの前で身を正し、あらためて自分自身を見つめ直し、新たな年を始める法要です。ご縁の中に生きる自分の姿を、あらためて仏教の教えに照らしてみる機会にしてみませんか。

お屠蘇、温かいお茶を用意しています!

定例法話 午後1時30分より

12月9日(土)横浜組 真照寺 雲井一久 師

1月9日(火)横浜組 蓮光寺 本多崇興 師

2月9日(金)横浜組 西教寺 伊藤大信 師

2月28日(水)別院 輪番 森田成美

※12月28日、1月28日の定例法話は休みです。

※法話終了後の「座談会」再開しています

正信偈の会 (お勤めのお稽古)

2024年2月18日(日) 午後1時30分～

5月18日(土) 午後1時30分～

内容は、正信偈のお稽古を中心に行ないます。

講師は別院列座 (担当: 家本) が務めます。

事前申し込み不要です。初心者歓迎♪

《持ち物》念珠、赤本等の勤行本。※勤行本をお持ちでない方はこちらで準備します。

大掃除 (清掃活動)

12月16日 (土) 午前10時より

年末の大掃除を行ないます。

汚れてもよい服装でお越し下さい。

皆様のご協力よろしくお願い致します。

おみがき会と同様に軽食を準備しています。

《第3回、第4回 声明儀式研修会》

12月4日(月)13時30分～16時30分

【講師】友松雅英 師(東京2組 西岸寺住職)

【講題】「登高座伽陀、三帖和讃回り口」

【参加費】1,000円 ※寺族対象・申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

2024年2月5日(月)10時30分～16時

【講師】鈴木友好 師(本山堂衆)

【内容】「年中諸法要行事の莊嚴について」

※内容変更の場合があります。

【参加費】1,000円 ※寺族対象・申し込み制

【持ち物】間衣・輪袈裟・念珠、『大谷声明集(上)』又は『真宗大谷派声明集』等

《考えてみませんか、終活を》(第4回)

2024年1月21日(日)14時～16時

(受付13時30分より)

【講師】小林尚樹 師(東京6組光明寺住職)

【内容】「仏事について考えてみよう」

【参加費】1,000円 ※申し込み制、当日可

《東京教区報恩講団体参拝の募集》

2024年1月28日(日)

【集合時間】9時 【解散時間】17時30分

【集合場所】本願寺横浜別院

【参加費】3,000円 (昼食、交通費、保険含)

【行き先】東本願寺真宗会館 (練馬区谷原)

【定員】20名 (定員になり次第締め切り)

【交通手段】マイクロバス

<電話等で申込みください: 担当家本>

グリーフケアのつどい

【日時】12月2日(土) 午後2時～

2024年2月10日(土) 午後2時～

4月13日(土) 午後2時～

※参加費・申し込みは不要です。

編集後記

十月十八日から二十日の三日間、横浜別院報恩講にご門徒、ご寺院の皆さまから例年より多くご参詣いただきました。昨年までのようなコロナ下と違い、マスクを外しての勤行は心地良いものでした。また、コロナ下が落ち着いたこともあり、四年振りに同朋の会研修旅行を実施しました。巻頭の森田輪番の文章で詳細はお伝えしておりますが、私にとつての学びもたくさんありました。その一つが、坂東報恩寺さんの「両尊の並立奉安」でした。説明文から抜粋しますと、「阿弥陀堂と御影堂を兼ねた珍しい内陣配置となっております。この両尊並置の様式は、天保十二年(一八四一)十月七日に、本山より、許可された記録があります。」とのことでした。坂東ご住職さんの話では、函館別院さんと同じ様式だそうです。希有なご縁を頂きました。(家本)